

地方経済情報 Weekly No.413

何から始める？「ESG 経営」

1. ワークショップ開催

2024年2月8日、熊本連携中枢都市圏市町村主催のSDGs・ESG経営ワークショップが開催され、当研究所が運営を担当しました〔図表1〕。SDGs・ESG経営を自社に取り入れたいと考えている企業様向けのもので、目的はESG視点での経営課題と社会課題の見える化、それらを解決していくための戦略や方法を考えていただくことです。参加者からは、「ESGと経営の関わりを学べた」「ESGのフレームワークに自社の計画を当てはめたい」「出来ることから始めたい」などの声をいただきました。

2. ESG 経営とは

ESGは、Environment（環境）、Social（社会）、Governance（ガバナンス）の頭文字から作られた略称です。ESG経営とは、環境、社会、ガバナンスにおける多くの課題を解決しながら持続可能な経済成長の実現を目指すことをいいます。経営課題と社会課題を同時に解決していくことが大前提となります。

3. 身近な課題から取組んでいく

企業がESG経営を実践するにあたり、何をどのように取組めばよいのでしょうか。以下に、ESG経営においてやるべきこと・考えるべきことを示しています〔図表2〕。SDGsやESGの取組みとして、「環境」が最も思い浮かびやすい領域かもしれませんが。実際に「植林活動」「CO2排出量削減」「3R(Reduce, Reuse, Recycle)」など環境面に取組んでいる企業は多いようです。

他方、「社会」や「ガバナンス」領域には、経営管理に直接結びつく課題が多いことを図表から確認することができます。ESG経営を実践していくにあたり、経営者のコミットメントは最も重要です。組織の隅々まで腹落ちさせたいうえで、未来のあるべき姿に向けて取組んでいく必要があります。

当研究所は、ワークショップ等を通じ、これからもSDGs・ESG経営をご支援してまいります。

〔図表1〕ワークショップの様子



写真：当研究所撮影

〔図表2〕ESG経営においてやるべきこと・考えるべきこと

Environment(環境)		
気候変動対策	温室効果ガス排出量の削減	化学物質の管理
再生可能エネルギーの活用	水質汚染対策	大気汚染対策
海洋プラスチックごみ対策	森林破壊の阻止	生物多様性の喪失の阻止
外来種の侵入対策	砂漠化や土壌の劣化の阻止	廃棄物対策 など
Social(社会)		
労働者の権利の保護	労働者の安全衛生の確保	製品の安全性の確保
ジェンダー格差の撤廃	あらゆる差別の撤廃	ダイバーシティの確保
ワーク・ライフ・バランスの確保	有能な人材の採用・育成	地域社会への支援
サプライチェーンの人権リスク管理	児童労働の撲滅	強制労働の撲滅 など
Governance(ガバナンス)		
経営理念と行動指針の浸透	長期的な経営戦略の策定	情報開示の透明性
取締役会の独立性・多様性の確保	ステークホルダーとの対話	コンプライアンス(法令順守)
適切な納税の確保	贈収賄などの汚職防止	リスク管理体制の構築
適切な役員報酬の設定	BCP(事業継続計画)の策定	ハラスメントの予防・対策 など

資料：「60分でわかる！ESG超入門（夫馬賢治著）」をもとに当研究所作成

SDGs・ESG経営ワークショップのお問合せ

☞ sdgs@reri.or.jp

担当：主任研究員 山田 博史